

# 令和5年度 印西市民アカデミーだより 第2号

## 講座2：歴史散策①木下地区

5月27日(土)、江戸～明治時代にかけて、大いに栄えた竹袋村の「木下河岸」周辺を散策しました。木下河岸は、江戸幕府による利根川の改修工事(利根川の東遷)や水運網の整備、木下街道を含む陸上交通の整備が進み、江戸と鹿島・銚子方面を結ぶ交通の要衝として、多くの旅人や物資が行きかいました。特に、鹿島神宮・香取神宮・息栖神社の三社詣や銚子方面に向かう旅人を乗せた乗合船「木下茶船」の発着場として、江戸にその名を知られた町場でした。安永7年(1778年)から寛政元年(1789年)にかけては、年平均4,350艘もの出船を記録しています。さらに、明治時代になると蒸気船が就航し、年間約3万人の人が木下に宿泊し、大いに賑わいました。残念ながら往時の建造物等はほとんど残っていないのですが、わずかな痕跡を訪ねながら300年余り栄華を極めた木下河岸を偲びました。コースは、中央公民館→手賀沼排水機場→干拓稻荷神社→利根川堤防(木下河岸跡)→吉岡問屋倉庫→山根山不動尊→木下交流の杜歴史資料館→万葉公園→木下貝層→上町観音堂→木下小学校・印旛高等学校発祥の地→木下駅→中央公民館の約3.5kmです。天候にも恵まれ、心地よい散策となりました。



東洋一を誇った手賀沼排水機場



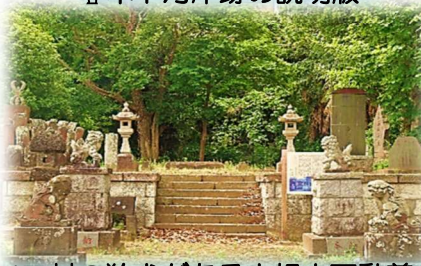
木下河岸跡の説明版



河岸問屋吉岡家の倉庫



木下貝層で作られた灯籠



二対の狛犬がある山根山不動尊



木下交流の杜の大階段



万葉公園の木下音頭の歌碑



国天然記念物の木下貝層



上町観音堂の庚申塔